

フォーラム(第2回)
「医療に貢献する実験用ウサギの新しい展開」

講演要旨集

平成18年9月2日(土)

山梨大学 甲府キャンパス
情報メディア館総合情報処理センター5F 多目的ホール
甲府市武田 4-4-37

世話人
範江林
(山梨大学大学院医学工学総合研究部・分子病理学講座・教授)

事務局:佐賀大学 総合分析実験センター
〒849-8501 佐賀市鍋島 5-1-1
森本正敏
TEL:0952-34-2430 FAX:0952-34-2024
mail:morimoto@cc.saga-u.ac.jp

フォーラム(第2回)

「医療に貢献する実験用ウサギの新しい展開」

プログラム

13:00-13:05

開会の辞(世話人:山梨大学医学工学大学院 教授 範江林)

講演

13:05-14:05 座長 北嶋修司(佐賀大学総合分析実験センター)

1. 秋田大型ウサギに関する調査研究—特に、乳汁分泌量について—

○松田幸久、山田秀一、石郷岡清基、池田勝也

(秋田大学バイオサイエンス教育研究センター動物実験部門)

2. 大型ウサギを用いた心筋細胞肥大の微細構造からの検討

○川村公一¹、吉田誠¹、高橋正人¹、杉田暁大¹、本間真紀子¹、小林実貴夫¹、南條博¹、
増田弘毅¹、松田幸久²

(¹秋田大学医学部病理病態医学講座、²バイオサイエンス教育研究センター動物実験部門)

14:05-15:05 座長 小池智也(山梨大学大学院医学工学総合研究部・分子病理学講座)

3. ウサギCRP・Insulin ELISAキットの開発と今後の展開について

○小島正章、木暮恵美、及川友恵

(株式会社シバヤギ 技術グループ)

4. WHHL ウサギによるスタチンの脂質低下作用および動脈硬化抑制作用の解明

○塩見雅志、伊藤隆

(神戸大学医学部附属動物実験施設)

15:05-15:20 コーヒーブレイク

15:20-16:05 特別講演 座長 範江林(山梨大学医学工学大学院)

「SPF ウサギ作出の歴史」

桑原吉史 先生(北山ラベス株式会社)

16 : 05-17 : 05 座長 松田幸久(秋田大学バイオサイエンスセンター)

5. 動脈硬化による冠動脈拡張反応とそのメカニズムの解析

○塩見雅志¹、伊藤隆¹、松川昭博²、板部洋之³、吉田勝也⁴、

(¹神戸大学医学部,²岡山大学医歯薬学総合研究科,³昭和大学薬学部,⁴国保旭中央病院)

6. 新規メタポリックシンドロームモデルとしての食後高TG(PHT)ウサギのインスリン抵抗性と中心性肥満

○河合孝^{1,2}、伊藤恒賢¹、大和田一雄¹、米良泰子²、松下睦佳²、友池仁暢³

(¹山形大・医・動物実験施設、²日本たばこ産業・医薬総合研究所、³国立循環器病センター)

10分休憩

17 : 15-18 : 15 座長 塩見雅志(神戸大学医学部附属動物実験施設)

7. 動脈硬化研究におけるウサギモデルの有用性—新規危険因子C反応性蛋白の機能解析

○小池智也¹、塩見雅志²、畠山金太³、北嶋修司⁴、森本正敏⁴、渡辺照男⁵、浅田祐士郎³、
範江林¹

(¹山梨大学大学院医学工学総合研究部・分子病理学講座、²神戸大学医学部附属動物実験施設、³宮崎大学医学部病理学講座・構造機能病態学分野、⁴佐賀大学総合分析実験センター・生物資源開発部門、⁵株式会社キューリン)

8. 補体成分C6欠損ウサギの海外からの凍結精子による導入

○劉恩岐¹、北嶋修司¹、Kurt Reifenberg²、森本正敏¹、渡辺照男^{1,3}、範江林⁴

(¹佐賀大学総合分析実験センター、²Central Laboratory Animal Facility, Johannes Gutenberg-Universität Mainz, Germany、³株式会社キューリン、⁴山梨大学大学院)

18:15-18:25 2007年第2回ウサギ国際シンポジウムのご案内

(山梨大学医学工学大学院 教授 範江林)

18 : 25 閉会の辞(事務局 佐賀大学総合分析実験センター 森本正敏)

18 : 40-20 : 00 懇親会(山梨大学 甲府キャンパス 大学会館)